

平成27年度 特別会計総括表

(単位:千円)

会計別	当初予算額			説明
	27年度(A)	26年度(B)	差引(A-B)	
国民健康保険特別会計	7,174,862	6,330,951	843,911	○歳入の主なもの 国民健康保険税 797,942 国庫支出金 1,936,006 療養給付費等交付金 391,045 前期高齢者交付金 1,453,140 県支出金 333,477 共同事業交付金 1,761,235 一般会計繰入金 483,514 基金繰入金 1 その他 18,502 歳入計 7,174,862
一般会計繰入金の内訳	27年度	26年度	一般会計の負担増分	○歳出の主なもの 総務費(人件費等) 104,057 保険給付費 4,361,863 後期高齢者支援金等 685,478 前期高齢者納付金等 2,497 老人保健拠出金 1,050 介護納付金 299,852 共同事業拠出金 1,666,875 保健事業費 42,617 直営診療所費 5,000 その他 5,573 歳出計 7,174,862
保険基盤安定化繰入金	240,420	237,600	2,820	
出産育児一時金繰入金	29,680	25,200	4,480	
職員給与と費等繰入金	83,543	84,479	△ 936	
財政安定化支援事業繰入金	129,871	134,010	△ 4,139	
<p>平成27年度歳入歳出総額は7,174,862千円で、前年に比べ843,911千円(13.33%)の増額となっている。歳入歳出増額の主な要因は、保険財政共同安定化事業の対象が30万円超の医療費からすべての医療費となり、これに伴い、歳入における保険財政共同安定化事業交付金、歳出における保険財政共同安定化医療費拠出金について増額となっている。</p> <p>平成27年度の収支においては、181,578千円の赤字が見込まれ、田川市国民健康保険財政安定化基金でこの赤字を埋める予算編成をすべきであるが、平成26年度の財源調整によって田川市国民健康保険財政安定化基金の残高がゼロとなったため、平成27年度の歳入不足額については国庫支出金等において調整している。</p>				
後期高齢者医療特別会計	734,711	702,513	32,198	○歳入の主なもの 後期高齢者医療保険料 485,881 一般会計繰入金 246,862 その他 1,968 歳入計 734,711
一般会計繰入金の内訳	27年度	26年度	一般会計の負担増分	○歳出の主なもの 総務費(人件費等) 30,628 総務費(徴收費) 1,676 後期高齢者医療広域連合納付金 701,707 その他 700 歳出計 734,711
事務費等繰入金	43,956	35,225	8,731	
保険基盤安定繰入金	202,906	198,611	4,295	
<p>平成27年度歳入歳出総額は734,711千円で、前年度に比べ32,198千円(4.58%)の増額となっている。主な変動要因は、1年間の被保険者数の見込み増による、歳入の後期高齢者医療保険料及び保険基盤安定負担金繰入金(保険料軽減措置分の補填)の増、これに伴う歳出の広域連合納付金の増である。</p> <p>また、番号制度に係る後期高齢者医療システムの整備及び通常システム更新費用を一般管理費から支出し、番号制度に係る補助金を歳入の総務補助金で受け入れ、不足分を事務費で繰り入れる。</p>				

平成27年度 特別会計総括表

(単位:千円)

会計別	当初予算額			説明
	27年度(A)	26年度(B)	差引(A-B)	
急患医療特別会計	118,010	121,809	△ 3,799	○歳入の主なもの 診療費事業収入 78,312 町村負担金 23,664 一般会計繰入金 15,054 基金繰入金 910 その他 70 歳入計 118,010
一般会計繰入金の内訳	27年度	26年度	一般会計の負担増分	
市町村負担割合相当額	11,336	11,290	46	
普通交付税(診療所)分	4,218	4,317	△ 99	
田川市人件費調整分	△ 500	△ 500	0	
田川地区急患センターの運営に係る主な財源は、診療費収入のほか、田川市郡8市町村からの負担金(人口割(80%)と均等割(20%)により算出)で賅われている。 前年度比較での主な増減要因 一般管理費 26年度計上の屋上防水工事費の減(△7,801千円) 医師、看護師等への謝礼金の増(3,845千円) ※暦の関係で土日祝日の日数が多いことによるもの。 急患医療事業基金費 債券運用利回りの低下による減。(△60千円)				○歳出の主なもの 医師等出務謝礼金 73,659 医薬品費 12,335 医療事務委託料 10,477 再任用及び嘱託職員人件費 9,467 その他 12,072 歳出計 118,010
住宅新築資金等貸付特別会計	41,399	52,263	△ 10,864	○歳入の主なもの 貸付回収金 39,581 県支出金 1,808 その他 10 歳入計 41,399 ○歳出の主なもの 総務費(人件費等) 32,577 公債費 8,822 歳出計 41,399
平成27年度歳入歳出総額は41,399千円で、前年度に比べ10,864千円(20.79%)の減額となっている。歳出減額の主な要因は公債費の減である。地方債の償還は随時終了しており、償還金も年々減少している。また平成27年度から貸付回収金の減少に伴い、特別会計で支弁する職員を5名から4名へと1名減としている。				
田川市等三線沿線地域交通体系整備事業基金特別会計	159,702	152,699	7,003	○歳入の主なもの 負担金 109,862 一般会計繰入金 42,315 その他 7,525 歳入計 159,702 ○歳出の主なもの 補助金 157,063 公債費 2,616 積立金 23 歳出計 159,702
平成27年度歳入歳出総額は159,702千円で、前年度に比べ7,003千円(4.59%)の増額となっている。歳出増額の主な要因は平成筑豊鉄道経営安定化補助金の増(16,389千円)によるものである。 なお、当該補助金については、平成22年度に作成した平成筑豊鉄道中長期資金計画案に基づき、23年度から32年度までの10年間で約1,500,000千円を交付する計画となっており、その原資として田川市を含めた各市町村が毎年度150,000千円を負担している。平成26年度までは各年度の補助金額が150,000千円を下回っていたため、差額を基金へ積み立てていたが、平成27年度以降は逆に150,000千円を上回るため、今後はこれまでに基金へ積み立てた各市の負担金を原資として上積みし、補助金の交付を行うこととなる。				